

大正時代は さまざまな社会運動がさかんになっていきます。
(国民の意識が高まり、国民が権利を主張するようになっていった)



基本となった考えが 2つあります。

①

「主権は国家にあって、天皇は国家の最高機関として憲法に従って統治するものだ。」

憲法学者



「天皇機関説」

by (美濃部達吉)

②

「普通選挙を実施して、政党内閣を通して民衆の意向を政治に反映させるべきだ。」

政治学者



「民本主義」

by (吉野作造)

(民主主義と言ってしまうと、天皇に主権がある憲法を否定することになってしまうので、民本主義と言った)

このように、大正時代に起きた、(民主)主義と(自由)主義を
求める重々しい風潮を

大正デモクラシー

という。